自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社すかいらーく	事業所名	東松山マーチャンダイジングセンター		
取組措置		具体的取組措置	H27	H28	H29
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	安全・優良事業所(Gマーク)取得の設定	○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ()	省エネ法(特定荷主)によるエネルギー使用量を把握	○	○	○
04	積載率の向上 ----- (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	物流ツールの統一による積算効率向上	○	○	○
04	積載率の向上 ----- (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	梱包用資材の使用は最小限	○	○	○
04	積載率の向上 ----- (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	車種別・日別の荷量予測を軸に配送車両台数を決める	○	○	○
04	積載率の向上 ----- (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	荷量に応じて混載便とチャーター便の使い分け	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	店舗排出油を燃料に再利用	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	燃費情報の共有開示による車両交換・入れ替え	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	デジタルタコグラフによる日次レベルでの燃費確認	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注から生産・配送まで全てルール化実施	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	取引先直納から集約拠点への納品に変更	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	深夜・早朝配送へのシフト	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	センターへの原料等の入庫品の集約、輸送車両・回数の低減のため外部倉庫を活用	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	店舗と配送担当センターの最適化	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	毎月、センターと輸配送事業者とのミーティング実施	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	深夜・早朝配送時の二人作業	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	株式会社すかいらーく	事業所名	東松山マーチャンダイジングセンター			
取組措置		具体的取組措置		H27	H28	H29
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行	細かい出退勤時間に合わせた送迎ダイヤを設定。最寄駅以外へも送迎ルートを設定		○	○	○	
03 自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進	賠償責任保険の紹介、推奨を継続的に実施。自転車通勤手当を支給		○	○	○	
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	十分なスペースの駐輪場を確保している		○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

06 エコ通勤の推進	許可基準として2キロ圏内の自動車通勤原則禁止	○	○	○
(01) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し				